

資料 5

新宿区障害者生活実態調査調査票 協議会(7/30) 及び第三回専門部会(書面開催)におけるご意見および対応まとめ

意見の あつた会		ページ	質問番号	タイトル	ご意見	対応	理由等
第一回 全体会	全体	-	web回答フォームの 写しについて	web回答フォームの中身が事前にわかると助かる。回答 フォームの写しを調査票に添付できないか。事業所向けだけ でも構わない。		修正無し	紙の調査票を送付いたしますので、そちらをご確認いただければと存じ ます。
第一回 全体会			識字が難しい聴覚 障害者への配慮に ついて	聴覚障害者の中には、調査票の内容を読めない方もいる。 資料送付及びwebフォームだけでは回答できない人がいる のでは。		済	区役所本庁舎（障害者福祉課）、障害者福祉センター、視覚障害者・聴覚障害者交流コーナーにおいて代読・代筆支援を実施する予定であり、そちらを利用していくだけだと存じます。 また、区役所本庁舎において、火曜日の午前中と金曜日の午後に手話通訳者を配置しております。 来談者が混みあっている場合はお待たせすることがありますので、ご希望の場合は事前に電話・faxをいただくようお願いする予定です。
第一回 全体会			視覚障害者への配 慮について	昔、障害者福祉センターで聞き取り調査のようなものをして もらった記憶がある。 点字が出来ない人は、代読・代筆で回答することになるの ではないか。			
第一回 全体会			回答所要時間の記 載について	回答にかかる所要時間を、調査票のQRコードの近くやweb フォーム等に表記してほしい。 回答にかかる時間が分からないと、空き時間をどれくらい作れ ばいいか分からない。		修正無し	回答なさる方の状況によって、回答にかかる時間は大きく変動します。 そのため、回答にかかる所要時間を記載する予定はございません。 なお、調査票の表紙裏面に記載するweb回答の解説文に、回答を一時保存して再開できる旨の記載もあります。そのため、一度に全てを回答せず、お時間のある時に少しづつ回答をすることも可能です。
第一回 全体会			web回答フォーム 上の解説文につい て	「～の解説が見られます」→「～の解説をご覧ください」 併せて、情報不足とならないよう、解説文を表示しないと次 に進めないようにしてほしい。		一部対応	「～の解説をご覧いただけます」に修正いたします。 なお、解説文の表示・非表示については、回答における煩雑さをなるべく低減する必要があるため、解説を読まないで次に進みたい方へのストレスとならないよう、非表示状態でも次に進めるようにしたいと考えております。
第三回 専門部会			「区民の生活のニーズに関する調査」という題名について	「区民の生活のニーズに関する調査」という表現だと、初めて 調査を受ける人には、自身の生活にどれ位関連がある調査 か分からず、封筒を開けて中を確認しない人もいるよう思 う。 今回の調査では、このままの表現で良いと思うが、「区民の 福祉のニーズに関する調査」といった名称のほうが、「答える ことでサービス向上に繋がるのでは」と考えて回答する人が増 えるのでは。 障害福祉の分野だと、「障害がある」と思わない、まだ分から ない段階の人からすると違和感があると思うが、「福祉」程度 の表現なら、少なくとも何らかのサービスを利用している人が 我が事ととらえることで回答が増えるのでは。		修正無し	ご意見としてうかがい、次回実施時の検討事項といたします。

意見の あつた会		ページ	質問番号	タイトル	ご意見	対応	理由等
第一回 全体会	資料1 在宅の方	一	入院中の精神障害者への調査票配布について	国等の障害福祉計画において、精神障害者の入院期間の短縮化が掲げられている。精神障害者の場合、一定数入院中の方がいるため、そのような方々に調査票が届くよう工夫や、そうした方々がいることを想定した調査項目等について今後検討することが期待されていると思う。 (今回というよりは、次回以降かもしれない)		修正無し	今後に向けたご意見としてうかがいます。
第三回 専門部会		6	15	選択肢16の表記について	選択肢16の表記を、以下のとおり改めてほしい。 「経済的に不安がある」 →「物価の値上がりなど経済的に不安がある」	要修正	ご意見どおり修正いたします。
第三回 専門部会		11	26	ピアサポート活動の解説文について	解説文に、「ピアソーターの希望者は、支援者に相談してください」とか「作業所や支援センターに申し出てください」のように、積極的な言葉があると良いのでは。	修正無し	ピアソーターの育成及びその活動については、事業所ごとに実施体制が異なり、一律に活動希望の相談に対応できるものではないと認識しています。また、ピアサポート活動の促進については区でも今後検討予定であり、まずはニーズを把握することが必要であると考えます。
第三回 専門部会		14	29	(2)④タクシー利用券について	タクシー利用券は、説明文に「下肢の障害者等で、日常生活を営むのに支障がある方～」とあるが、下肢に障害の無い知的障害者にも支給されている。知的障害者は、「等」という部分で対象になっているという理解でよい。 また、障害の程度により支給の適否が分かれれるが、「2～3年以内に利用したい」とは、障害の程度が重くなることを想定しているということか。	済	・一つのご質問について 知的障害者が「等」に含まれているという理解で問題ございません。 ・二つのご質問について 障害が重くなることを想定しているわけではございません。 受給資格はあるものの、ご本人様の意向により現状ではサービスを利用していない方に対して、今後の意向をお伺いするつもりで設問を設けております。
第三回 専門部会		14	29	障害児等タイムケア事業について	「(3)日中の活動を支援するサービス」に、今年度から障害児等タイムケア事業の年齢制限が無くなったことを踏まえて、同事業を追加した方がよいのでは。	済	障害児等タイムケア事業につきましては、16ページの「(8)日常生活のサービス」に追加済みです。 同事業につきましては、日中活動終了後の居場所を提供する事業となりますので、「(3)日中の活動を支援するサービス」ではなく、上記「(8)日常生活のサービス」に追加しております。

意見の あつた会		ページ	質問番号	タイトル	ご意見	対応	理由等
第三回 専門部会	資料1 在宅の方 (つづき)	15	29	(6)②療養介護について	療養介護が、「(6)住まいの場・住まいに関するサービス」にあるが、位置として妥当か。	修正無し	・療養介護について 医療と常時介護を必要とする方の生活の場としてのサービスであるということを踏まえると、施設入所・グループホームといった住まいの場に関するサービスのカテゴリーに含まれていて問題ないと考えております。
第三回 専門部会		17	30	「困っていること」の具体化について	毎年、ショートステイの予約が取れないという問題がある。具体的に、「ショートステイが使えない」「生活介護に変更したい」といった文言は入れられないか。	修正無し	特定のサービスについて具体例を挙げて選択肢を設けようすると、選択肢の数が膨大になってしまうため、回答の簡便化を妨げる要因になります。 そのため、お困りごとにあわせて、選択肢の中で当てはまるものを選んでいただいている現状のままで進めたく存じます。
第三回 専門部会		19	32	設問文について	設問文に「65歳以上の方（45～64歳で特定疾病の方を含みます）にお聞きします。」とあるが、内容を示さなくてよいのか。	要修正	ここでいう「45～64歳で特定疾病の方」は、2号被保険者を指しているつもりでしたが、「45～64歳」は「40～64歳」の誤りでした。 また、内容についてもお示しすることとし、以下のとおり修正いたします。 「65歳以上の方（40～64歳で特定疾病の方、いわゆる介護保険の「第2号被保険者」の方を含みます）にお聞きします。」
第三回 専門部会		25	42	選択肢18の表記について	選択肢18の表記を、以下のとおり改めてほしい。 「経済的支援の充実」 →「経済的支援の充実（年金・手当の増額）」	修正無し	「経済的支援」とは、年金・手当の増額に限らず、国等の実施主体によって様々な経済的支援が考えられます。そのため、補記を追加し限定することは控えたいと考えております。
第三回 専門部会	資料2 施設入所 の方	4	9	設問文について	設問文に「～出身世帯（略）に帰るときなどに～」とある「など」が、何を想定しての「など」かが不明確ではないか。	要修正	いわゆるご本人にとっての「実家・生家」以外の、親族がいる居宅に一時的に滞在するために行くというケースを想定しておりましたが、「など」の位置を以下のとおり修正いたします。 「～出身世帯（施設に入る前に住んでいた家）などに帰るときに困ることはありますか」
第三回 専門部会		9	21	選択肢1の表記について	選択肢1の表記を、以下のとおり改めてほしい。 「施設を退所して、必要に応じてサービスを利用しながら新宿区内で生活したい」 →「施設を退所して、在宅の福祉サービスを利用しながら新宿区内で生活したい」	要修正	ご指摘のとおり修正いたします。
第三回 専門部会		9	22	選択肢18の表記について	選択肢18の表記を、以下のとおり改めてほしい。 「経済的支援の充実」 →「経済的支援の充実（障害基礎年金などの増額）」	修正無し	「経済的支援」とは、障害基礎年金などの増額に限らず、国等の実施主体によって様々な経済的支援が考えられます。そのため、補記を追加し限定することは控えたいと考えております。

意見の あつた会		ページ	質問番号	タイトル	ご意見	対応	理由等
第三回 専門部会	資料3 18歳未満 の保護者の方	1	1	選択肢3の表記に について	選択肢3の表記について、以下の変更は不要か。 「両親以外の家族」 →「両親以外の家族（・兄弟姉妹・祖父母・その他）」	修正無し	「両親以外の家族」について、属性を詳しく選択させてはどうかというお尋ねかと存じます。 前回・前々回とともに、同設問における選択肢3の選択率がとても低いため、細分化を要するほどの回答が得られると考えておりません。 前回：回答数618件のうち0.8% 前々回：回答数430件のうち0.9% そのため、属性の細分化は不要と考えます。
第一回 全体会		3	7	手帳取得予定を問 う設問の有無につい て	「手帳を持っていないし、診断も受けていない」という児童の 保護者に対して、今後診断を受けて手帳を取得するつもり があるかを問える設問はどこにあるか。	修正無し	障害者手帳の取得については、特に障害児の場合、保護者の方の障 害に対する認識が関わってくるため、配慮を要する事柄となります。 また、障害児の場合、手帳の取得有無および手帳の取得に必要な診 断の有無に関係なく、医師意見書等の必要書類と共にご申請をいた だければ、障害児通所支援（児童発達支援・放課後等デイサービス 等）の受給を受けることが可能です。 そのため、手帳の取得意向を問う設問を設ける予定はございません。
第一回 全体会		7	16	子ども総合センター の解説文	地域生活支援拠点の解説文が載っているが、障害児の相 談先として優先順位が高いものではない。障害児の相談先 として優先度の高い子ども総合センターの解説文を載せてほ しい。	要修正	解説文を掲載いたします。
第三回 専門部会		7	16	子ども総合センター の所在地の追記に について	子ども総合センターの解説文に、所在地を追記してほしい。	要修正	ご指摘のとおり修正いたします。
第一回 全体会		15	30	「2~3年後に利用 したい」の表記につ いて	すぐにでもサービスを使いたいというニーズがあるはず。他の調 査票の同じような設問を見ると「2~3年以内」とあるが、児 童のこの問30の設問文だけ違うのは何故か。	要修正	誤植のため、「2~3年以内」に修正いたします。
第一回 全体会		15	30	「2~3年後に利用 したい」の表記につ いて	片岡委員の言う通り、障害児の状態の変化は短期間で起 こるため、「1~2年以内」にしてはどうか。	一部対応	誤植のため、「2~3年以内」に修正いたします。 なお、前回実施時の調査結果との経年変化を確認する必要があるた め、なるべく設問文は変えないようにする必要があります。そのため、「1 ~2年以内」に変更することは考えておりません。

意見の あつた会		ページ	質問番号	タイトル	ご意見	対応	理由等
第三回 専門部会	資料4 サービス事 業者の方	4	14	選択肢の追加につ いて	選択肢1の「量的に～」の「量」の解釈を、利用者のニーズという意味での量だけだとする場合、昨今の人材不足により事業所側のサービス供給量が不足していることを回答できる選択肢が選択肢9「その他」以外に無い。 よって、例えば「人材不足により、利用者の希望通り提供できていない」といった選択肢を追加してはどうか。	修正無し	サービス供給量が需要に追い付かない原因を、需要側が多すぎると捉えるのか、供給側に不足があると捉えるのかは、回答する事業所が置かれた状況や事業所の認識により変わってくるものと考えております。よって、答したい内容に対して当てはまる選択肢がないとお考えの場合は、「その他」欄をご選択いただき、自由記載欄に詳細をお書きください。 なお、職員の充足状況を問う設問として、問10がございます。そのため、例えば令和5年度版の調査報告書309ページのように、提供サービス別で職員の充足状況につきクロス集計をとることも可能です。
第三回 専門部会		5	15	選択肢の追加につ いて	相談先は、困りごとの内容によりさまざままで、嘱託医、訪看、行政書士等に相談する可能性もあるため、「その他（　）」の選択肢が必要ではないか。	要修正	ご指摘のとおり修正いたします。
第三回 専門部会		9	27	選択肢の追加につ いて	高齢福祉分野との連携が必要と感じる事業所もあると思うので、「その他（　）」の選択肢が必要ではないか。	要修正	ご指摘のとおり修正いたします。
第三回 専門部会		8~9	25~27	(○は3つまで) の表記について	(○は3つまで)の表記を、回答者が気付かないかもしれないため、もう少し目立たせても良いのではないか。	修正無し	問題文そのものに太字等の強調箇所がある場合（例えば、問27など）がありますので、強調箇所が増えると強調の意味が薄れてしまします。そのため、これ以上の強調表示は避けたいと考えております。